

令和8年度 愛川高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

【日 時】 令和8年6月29日（月） 13:00～14:50

【委 員】 石田 裕昭（神奈川工科大学 経営管理本部 企画入学課 担当理事）

川上 信昭（桜美林大学 高大接続アドバイザー）

飯田 哲昭（愛川町教育委員会 指導室長兼教育開発センター所長）

大石 進（令和7年度地域学校協働本部（明日楓会）元会長）

林 繁（愛川高等学校同窓会長）

杉山 治久（神奈川県立愛川高等学校 校長）

大石 典弘（愛川高等学校 P T A 会長）※ 欠席

（事務局）坂野 敦子（副校長）、山本 泰三（教頭）、各グループ総括教諭、矢崎 文治（書記）

【会 場】 愛川高等学校会議室

【議 事】

1. 校長より

2. 本会の会長・副会長の選出について

○会長 : 石田 裕昭 委員

○副会長: 杉山 治久 校長

3. 設置部会の確認及び実施日程の変更について（校長より）

○設置部会

学校評価部会	全員		
地域連携部会	大石 典弘	林 繁	
中高連携部会	石田 裕昭	川上 信昭	飯田 哲昭

※ 本会議では学校評価部会・地域連携部会・中高連携部会を含む。

○実施日程の変更について

・「第1回地域連携部会」7月予定⇒6月29日（本日）

・「第3回中高連携部会」「第2回地域連携部会」12月予定⇒9月6日（文化祭）

4. 令和7年度の取組および令和8年度の学校経営方針及び取組について

○学習支援グループ（奥村総括教諭より）

○進路支援グループ（畠山総括教諭より）

○生活支援グループ（青木総括教諭より）

○生徒活動支援グループ（今井総括教諭より）

○学校運営グループ（古谷野総括教諭より）

○予算関係について（校長より）

5. 質疑および意見交換

・令和7年度学校評価報告書（実施結果）について、最新の情報にするよう確認の必要がある。

・令和8年度学校評価報告書（目標設定）の評価について、複数箇所、誤解を招きやすい標記もあるので見直した方がよい。

・現在、外国につながりのある生徒はどの程度いるか。

→約2割である。タガログ語、タミル語、中国語、スペイン語の支援員が配置されている。

- ・インターンシップについて今年度、記載がないがなにか理由があるのか。
→本校生徒が志望する分野とマッチしないことが多く、インターンシップに参加する生徒自体が少ない。内陸工業団地の企業と調整し、昨年度は半日程度の仕事体験プログラムを実施した。
- ・私は理美容店を経営している。今までインターンシップで参加する生徒はいなかったが、愛川高校の卒業生が2名働いている。2名ともアルバイトからスタートしたのでミスマッチはないと思う。
- ・中学時から長欠の生徒でも、本人が希望すれば愛川高校に入学できる現状では、高校側も対応が大変と思うが実態はどうか。
→長欠理由が人間関係であれば、高校で環境が変わることで欠席が減る可能性はある。一方、別の理由の生徒は生活習慣を変えることは難しい。入学直後から長欠の生徒もあり、結果的に進路変更の話となるなど、担任は入学早々から苦労している。
- ・中学校の部活動が数年後には無くなると聞いたが本当か。
→町としては、令和11年度から土日の部活動は地域移行に展開していく。休日は教育委員会が運営の主体となり認定地域クラブを立ち上げて活動する。平日は週2日、放課後の1時間程度の校内部活動を考えているが、大会に出られるのは認定地域クラブだけである。国の考え方が「勝利至上主義」や「勝つことが目的」ではない。高校と連携し合同練習の会場を愛川高校に提供いただけるとありがたい。
- ・連携型中高一貫校の特色を生かし、すぐには無理でも実現できれば「部活をやるなら愛川高校へ」という流れになり、魅力は高まると思う。
→昨年度の部活動体験・交流会は和太鼓部だけだったが、他の部活動にも広げ、愛川高校への進学希望者が増えることを期待したい。
- ・愛川高校ならではの特徵として一つは部活動、もう1つは外国につながるのある生徒、この2つの活かせる要素を上手く活性化につなげられないか。
→小・中学校の動向を見ても外国につながるのある生徒は今後も増える。これまで本校の外国につながるのある生徒が活躍しているのは確かである。
- ・県立高校の中に国際科などを新設しようとする、県へどう働きかけるかなどを含めて相当時間がかかる。高校のグラウンド使用方法についても課題はある。
- ・科を新設するのが難しければ、「探究学習」とか「学習理解」という取り組み方もある。学校をあげて取り組めば愛川高校の特色にもなる。外国につながるのある生徒が多いことを“財産”として、生徒間の交流が深まれば、自ずと日常会話ができる語学力も身に付く。そういう生徒が社会に出て活躍していけば、日本の国際化にも寄与する。
- ・高校でも第2外国語が学べる場を作って、外国につながるのある生徒が助手を務めるなどできたら面白い。
- ・すぐにはできないが「総合的な探究の時間」に盛り込む等の可能性はある。実現できるような方法を前向きに考えていきたい。

6. 事務連絡（副校長より）

- ① 第3回中高連携部会・第2回地域連携部会は9月6日（日）に開催する。

〈時間〉11:00～11:30 〈会場〉校長室

- ② 第2回学校運営協議会は12月に書面開催とする。

以上